

平成 28 年第 1 回定例議会議決結果

議案番号	件 名	採決結果
議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて (いすみ市税条例等の一部を改正する条例の一部改正)	承 認
議案第 2 号	いすみ市地域審議会条例の制定について	可 決
議案第 3 号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可 決
議案第 4 号	いすみ市職員の降給に関する条例の制定について	可 決
議案第 5 号	いすみ市職員の退職管理に関する条例の制定について	可 決
議案第 6 号	いすみ市安全で安心な海水浴場の確保に関する条例の制定について	可 決
議案第 7 号	いすみ市行政組織条例の一部改正について	可 決
議案第 8 号	いすみ市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可 決
議案第 9 号	いすみ市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 10 号	いすみ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 11 号	いすみ市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 12 号	いすみ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 13 号	いすみ市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 14 号	いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例及びいすみ市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 15 号	いすみ市市民ギャラリーの設置及び管理に関する条例の廃止について	可 決
議案第 16 号	いすみ市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	可 決
議案第 17 号	いすみ市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可 決
議案第 18 号	いすみ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 19 号	いすみ市都市公園条例の一部改正について	可 決
議案第 20 号	平成 27 年度いすみ市一般会計補正予算 (第 5 号)	可 決
議案第 21 号	平成 27 年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	可 決
議案第 22 号	平成 27 年度いすみ市介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)	可 決
議案第 23 号	平成 27 年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	可 決
議案第 24 号	平成 27 年度いすみ市水道事業会計補正予算 (第 2 号)	可 決
議案第 25 号	平成 28 年度いすみ市一般会計予算	可 決
議案第 26 号	平成 28 年度いすみ市国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第 27 号	平成 28 年度いすみ市介護保険特別会計予算	可 決
議案第 28 号	平成 28 年度いすみ市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第 29 号	平成 28 年度いすみ市水道事業会計予算	可 決
議案第 30 号	新市建設計画の変更について	可 決
議案第 31 号	平成 27 年度いすみ市一般会計補正予算 (第 6 号)	可 決
議案第 32 号	いすみ市教育委員会委員の任命について (押塚尚氏)	同 意
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について (太田防夫氏)	同 意
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦について (吉田一夫氏)	同 意
発議第 1 号	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のサーフィン競技会場をいすみ市、一宮町へ誘致しジュニア選手の強化支援に係る要望書について	可 決
発議第 2 号	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のサーフィン競技会場を千葉県いすみ市、一宮町で開催することを求める要望書について	可 決
発議第 3 号	いすみ市議会委員会条例の一部改正について	可 決

議会だより 第 42 号

平成 28 年第 1 回定例議会が 2 月 23 日から 3 月 11 日までの 18 日間の会期で開催されました。この定例議会では、市長から提出された平成 28 年度いすみ市一般会計予算ほか 31 議案及び人権擁護委員候補者 2 名の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。このほか、発議案 3 件が提出され、審議の結果可決されました。



主な議決結果

○東京五輪の追加種目候補になつているサーフィンの会場をいすみ市と一宮町の海岸に競技会場を誘致すること、また、正式種目となつた場合、千葉県においては、ジュニア選手の強化支援策についての要望書提出に係る発議案2件は全会一致で可決しました。

○いすみ市教育委員会委員に押塚尚氏を任命することは全会一致で同意しました。

○人権擁護委員候補者に太田防夫氏、吉田一夫氏を推薦することは全会一致で同意しました。

平成28年度一般会計及び各特別会計予算を可決

- 一般会計予算 149億4700万円
- 国民健康保険特別会計予算 66億7482万4千円
- 介護保険特別会計予算 40億4027万3千円
- 後期高齢者医療特別会計予算 4億8940万5千円
- 水道事業会計予算支出総額 20億1869万8千円

委員会

審査

報告

3月3日と4日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。

ここでは、平成28年度いすみ市一般会計予算における主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案11件について審査を行いました。

問 LED照明に切り替える照射範囲が狭くなり暗くなることも考えられるが、その対応はどのようなものか。

答 現在はさまざまなLED照明があることから、導入の際には照射範囲の広い器具を選び、カーブ地点などは暗くならないよう配慮します。

文教厚生常任委員会

議案8件について審査を行いました。

問 埋蔵文化財発掘調査の進捗状況について伺いたい。

答 住居跡、高床式の倉庫跡及び土器などが発掘されており、今後は県へ発掘調査の結果を報告するため、報告書等の作成作業を行います。

産業建設常任委員会

議案4件について審査を行いました。

問 イセエビまつりイベント事業の内容について伺いたい。

答 飲食店、宿泊業、漁業関係者とタイアップし朝市を中心にイセエビ産地のPRと地産地消を兼ねて8月、9月を予定しており、今後、実行委員会等を立上げ意見等を伺いながら事業を進めます。

Q&A 一般質問 市政をきく

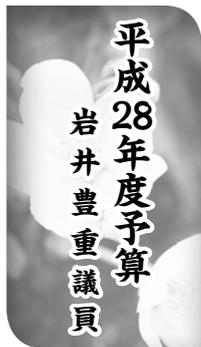
第1回定例議会の一般質問は、2月25日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第1回定例議会の会議録は6月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重 議員	平成28年度予算／介護保険／指定管理者制度／平和に対する市の姿勢
久我 司 議員	東京オリンピック開催に向けての取組
山口朋子 議員	子育て支援対策／認知症支援対策
荒井 正 議員	国の平成27年度補正予算に関連した市の取組／福祉施策の見直し／デマンド交通／マイナンバー制度
田井秀明 議員	子宮頸がん対策／大原高校総合学科の園芸系列や海洋科学系列と連携した農業や水産業の後継者づくり／振り込め詐欺等の被害防止対策／深堀バイパス開通に伴う市道整備
高森和久 議員	いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略における雇用の創出、里の駅検討事業、移住・定住の促進／がん対策加速化プラン／公共施設等のトイレの洋式化／市道の予防保全





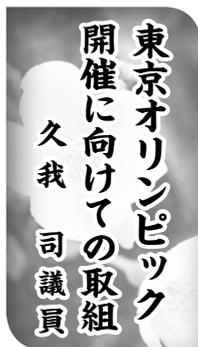
平成28年度予算
岩井豊重議員

答 地方創生関連予算を積極的に予算化した

岩井議員 予算編成に当たり、特に留意された点を伺いたい。

市長 今回の予算編成に当たり、各種施策の再検討、再配分を行いながら、自立と挑戦、交流を柱に、いすみ市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生関連予算を積極的に予算化しました。

施策としては、人口減少に歯止めをかけるため、仕事を理由とする転出を減らすことと、移住、定住に力をいれ、選ばれるまち、住み続けられるまちを実現するため、一つ目、地域経済の循環を拡大しての雇用の創出、二つ目、地域資源を再確認し市民所得の向上、三つ目、選ばれる魅力を生み出して人口増加対策、四つ目、全国に発信できる魅力づくりの四つの柱に力を注ぐほか、健康づくりと医療



東京オリンピック
開催に向けての取組
久我 司議員

答 いすみ市と一宮町を会場に開催することが望ましいと訴えている

久我議員 サーフインの正式種目への実現と開催会場を外房地域に誘致する活動の進捗状況について伺いたい。

市長 昨年11月に森田県知事に対し、外房地区16市町村の首長及び日本サーフィン連盟4支部長が千葉県での開催を要望しました。その後、森英介衆議院議員、橋本聖子参議院議員、石井準一参議院議員に対しても要望活動をしました。その後、いすみ市と一宮

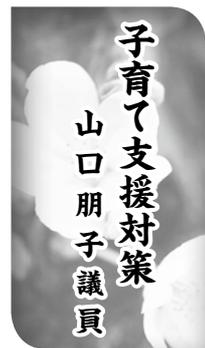
など市民福祉の向上、生活と産業基盤の整備や教育環境の充実などに財源の許す限り予算措置を行いました。平成28年度予算については、各種事務事業の見直しを行いながら福祉の向上に努め、市民生活の向上に配慮しました。

町での開催を熱望するサーファーで全米オーブンチャンピオンになった大原洋人選手をはじめとする国内外のプロサーファーのビデオレターと要望書を東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣の遠藤大臣に手渡しました。

太東海岸から一宮町釣ヶ崎海岸は世界でもトップクラスの波があり、夏場の気候変動があっても幅広く海岸を活用できることから短期間のうちに競技を行うことができ、また、東京有明の選手村からバスで1時間強と近く、経費面でも抑えられることから、いすみ市と一宮町を会場に開催することが望ましいと訴えているところですが、

静岡、神奈川、愛知、宮崎とそれぞれ名乗りを上げていますが、現時点においてはいすみ市、一宮町が最有力候補ということですので、今後も関係団体への要望を行っていきます。

また、サーフィン競技の開催地となれば道路をはじめとする各種インフラ整備が加速することが期待されることと、子どもたちに地元でオリンピックが見られることの素晴らしさと、当地域でのオリンピック開催



子育て支援対策
山口朋子議員

答 たけのこ塾の対象学年を6年生までに拡大する

による地域の魅力が更に増し、若い人の移住、定住が進むと考えています。

山口議員 子どもの貧困対策として国では、子どもたちが家庭の事情等に左右されずに安心して学べるよう学習支援や居場所づくりなどの施策を総合的に推進とあるが、市として地球未来塾（仮称）という形で地域ボランティアやNPO法人などと連携し、困窮家庭などの子どもたちの学習支援を行う考えはあるか伺いたい。

学校教育課長 文部科学省が取り上げた地球未来塾というような形での学習支援は行う予定はありません。しかし、児童・生徒の学習支援としては、現在小学校3年・4年生児童を対象に行っているたけのこ塾の対象学年を6年生までに拡大

する予定で予算計上しています。さらに、夏季休業中にもたけのこ塾を開催する予定です。たけのこ塾は平成28年度で3年目を迎えますが、保護者への経済的な負担は年間数百円程度で、国語と算数の基礎学力向上のための学習塾形式となっています。

中学生への学力向上策としては市としての事業ではありませんが、各学校独自の取り組みとして、夏季休業中に中学3年生を対象に補習授業に力を入れていきます。

また、不登校児童生徒の居場所づくりとして、県と夷隅地域教育委員会が取り組む事業で本年1月より、国吉地区のふれあいセンターを利用して移動相談教室を毎週金曜日開催しています。

平成28年度には、国の委託事業として子山こども家庭支援センターと東上総教育事務所と連携して不登校児童生徒への支援モデル事業、フリースクールを開設する予定で現在調整中です。

国の平成27年度 補正予算に関連し た市の取組

荒井 正議員

答 各種制度の整備
や均衡ある待遇の
確保に向けて努力
する

荒井議員 一億総活躍社会の

実現に向けた緊急対策の
柱の一つである「働き方改
革」、同労働同一賃金や非
正規雇用の正社員化など
どのように受け止めている
か伺いたい。

総務課長 安倍総理は一億総

活躍社会の実現に向け新三
本の矢を掲げ、働き方の改
革として、女性もお年寄り
も障害者も誰もが活躍でき
る社会、多様な働き方が可
能な社会への変革、ワーク・
ライフ・バランスの確保が
課題であるとしています。
そして、フレックスタイム
制度の拡充、長時間労働の
抑制、有給休暇の取得の促
進、女性が活躍できる社会
づくり、障害者の支援、非
正規雇用の均衡待遇の確保
などに取り組み、今後取り
まとめるニッポン一億総活
躍プランにおいて、同一労
働同一賃金の実現に踏み込
むとしています。

市では、これまで国に準

拠した条例等の整備をはじめ、非正規雇用に関して
は、任期付きや再雇用制度
の創設、臨時職員に対する
有給休暇の付与など環境整
備等に取り組み、賃金単価
の引上げ、通勤手当や時間
外手当の支給など待遇改善
を図ってきました。

今後も国の動向等を注視
し、国、県に連動した各種
制度の整備や均衡ある待遇
の確保に向けて引き続き努
力します。

子宮頸がん対策

田井秀明議員

答 早期に医療機関
受診へとつなが
り、前がん病変が
発見された方は医
療機関での管理中
となっている

田井議員 細胞診とHPV

(ヒトパピローウイルス)
のDNAの有無を検査する
併用検診の導入によりどの
ような検診成果が生じたの
か、また、子宮頸がんの前
がん状態で発見されたのち
にどのような結果に至って
いるのか伺いたい。

健康高齢者支援課長 検診成

果は併用検診の導入によっ
て検査の精度が上がり、平

成25年度の要精検率が1.
5%に対し、平成26年度は、
2.4%となり、精密検査
判定の方が、早期に医療機
関受診へとつながったと考
えています。なお、新規受
診者の掘り起しのため、偶
数年齢の方への通知や検診
希望調査を実施し、平成26
年度は673名、平成27年
度は541名が新規受診に
つながっています。

次に、子宮頸がんの前が

ん状態で発見されたのちに
どのような結果に至ってい
るかですが、平成26年度の
検診で精密検査が必要と判
定された方67名のうち精密
検査の受診者は61名で、結
果は61名のうち49名に疑い
も含めて前がん病変が発見
されました。さらに、49名
のうちHPV陽性者が47
名、陰性者は2名でした。
なお、精密検査の受診者61
名中54名は、医療機関での
管理中となっています。

平成27年度の検診では、

精密検査が必要と判定され
た方の36名中、精密検査の
受診者は32名で、うち疑い
も含め、前がん病変が発見
された方が23名で全員がH
PV陽性でした。精密検査
の受診者32名中27名は医療
機関での管理中で、2名は
治療を行いました。

いすみ市まち・ひと・ しごと創生総合戦略 における雇用の創出、 里の駅検討事業、移 住・定住の促進

高森和久議員

答 有識者による検
討委員会を立上げ、
様々な観点から整
備の検討を行う

高森議員 情報発信拠点とし

て農産物の直売等を行う施
設の整備とあるが、どのよ
うなイメージで検討される
のか、道の駅とは異なるの
か、また、候補地について
伺いたい。

地域創生担当参事 いすみ市

まち・ひと・しごと創生総
合戦略では、基本目標の一
つに地域資源の価値を再認
識しての地域所得の向上を
掲げており、その具体的な
施策で情報発信拠点の整備
について里の駅の検討をす
ることを位置づけていま
す。この検討は平成28年度
以降、専門的な見識を持つ
た有識者による検討委員会
を立上げ、その中で休憩機
能、情報発信機能、地域連
携機能の有無、運営方法、
地域経済への影響、立地場
所など様々な観点から、整
備の検討をしていきたいと
考えています。

市政を知るために 議会を傍聴しませんか

市民生活に直結した重
要な問題が審議されてい
る市議会は誰でも傍聴で
きます。市政への知識を
深め、市政を身近に感じ
るためにも、議会を傍聴
してください。

傍聴の際は市役所大原
庁舎4階議会事務局で受
付けをお願いします。

なお、傍聴人数は、先
着順で25名までです。

第2回定例議会日程(予定)

- 6月7日(火)10時 開会
- 議案の上程
- 9日(木)10時 一般質問
- 14日(火)10時 議案質疑
- 16日(木)9時 委員会
- 17日(金)9時 委員会
- 24日(金)10時 委員長報告
- 議案審議
- 閉会

編集 議会だより編集委員会
☎0470-6211406
ホームページアドレス
http://www.city.isumi.lg.jp/
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp